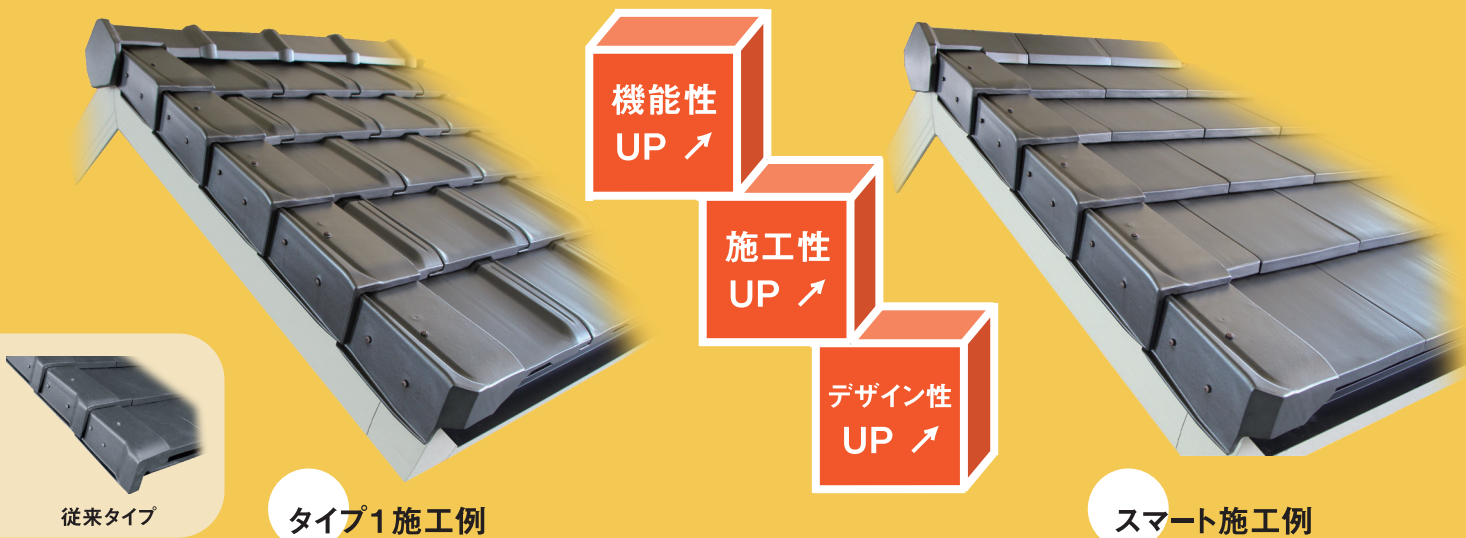


新製品

トライ RS ワイド袖

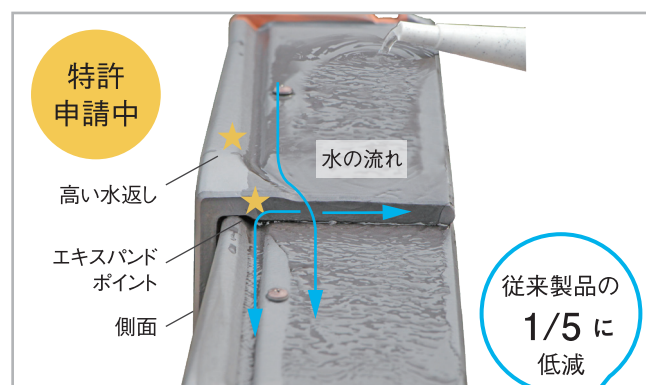
トライ RS 袖からココが変わった **3** つのポイント



1

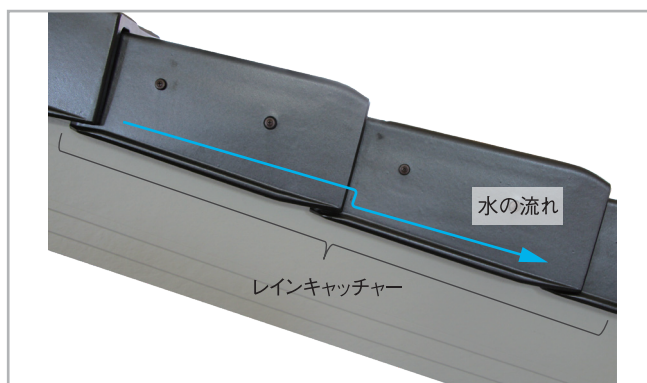
機能性
UP ↗

雨水をコントロールする。
(Rain Stop)



側面への流れ込み防止機能が更に向上

高い水返しと、重なりエキスパンドポイント（表面張力を切る箇所）が側面への流水を防ぎます。



安定した雨伝いを実現

雨伝いをより安定させるためにレインキャッチャーを袖瓦先端まで延長しました。

(※基準通りに取り付けても、気象条件により雨水が落下することがあります。)

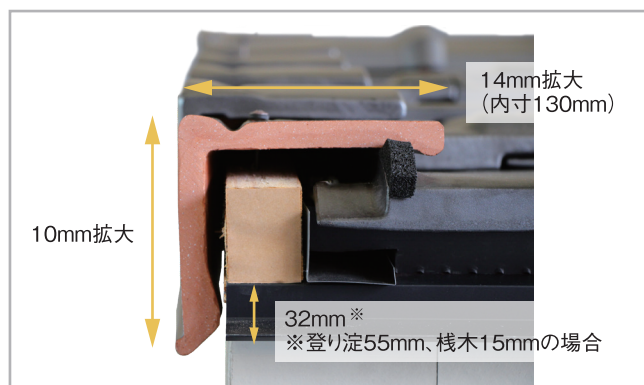


破風への水かかり軽減

裏面が斜めになっているため、破風に水がかかりにくく、破風の汚れを防ぎます。

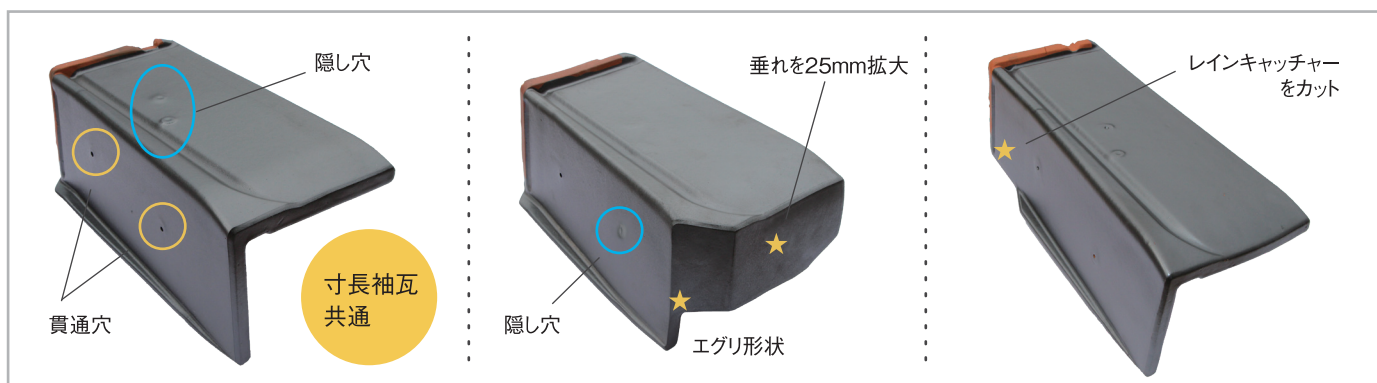
2 施工性 UP

使いやすさとコトンを追求。



製品サイズが拡大

縦も横もワイドになって様々な下地・納め方に対応します。



袖瓦

側面に貫通穴、上面には選択式の隠し穴を新設。

角瓦

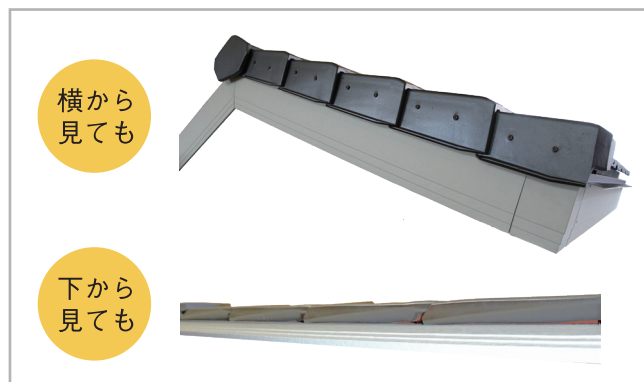
大きな垂れで目隠しスッキリ。エグリを設けて多様な軒樋に対応。
(側面軒側：隠し穴 側面棟側：貫通穴)

寸長袖瓦

巴にあたるレインキャッチャーを予めカットし、施工簡略化を実現。

3 デザイン性 UP

今ドキなおしゃれ屋根に。



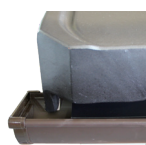
どこから見てもフラットな直線ライン

凸凹なしのすっきりデザインは美しいだけでなく、隙間が小さいため小動物の侵入リスクも軽減します。

角瓦・軒樋に関するご注意



角瓦からの雨垂れは従来製品より極少量（従来比 1/5）ですが、確実に軒樋に流し込みたい場合は、軒樋を角瓦の外側まで施工してください。



リフォームで軒樋と角瓦が干渉する場合は、側面先端から雨垂れしないよう、軒樋を必要最小限加工してください。

軒樋加工